

# 薪ストーブを適切に使用していますか？

## 苫小牧市からのお願い



- 近年、環境に優しい暖房器具として、薪ストーブなどの普及が進んでいます。
- 一方で、薪ストーブ由来の煙やにおいについて、市へ寄せられる相談件数も増えていきます。このような近隣とのトラブルを回避するためにも、薪ストーブの適切な使用方法を知っておくことが大切です。また、**近隣の方への配慮も忘れず**にお願いします。

# トラブル多発中

## 以下のルールを守りましょう！

### ① 「よく乾燥したきれいな薪」を使いましょう。

☞乾燥が不十分だと、燃やしたときに煙やにおいが発生します。**接着剤や塗料、防腐剤が使用されたものや化学処理された木材は、悪臭や有害な化学物質が発生する恐れがあるので、燃やしてはいけません。**

### ② 「ゴミ」は燃やさないこと。

☞**家庭ごみや建築廃材等**の廃棄物の焼却は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で禁止されています。**燃やしてはいけません。**

### ③ ストーブと煙突は定期的に**清掃・点検**しましょう。

☞煤(すす)が溜まっていると、風に飛ばされて近隣へ迷惑になったり、煙道火災の原因になる恐れがあります。専門業者などに依頼をして定期的に清掃・点検をしてください。



## 薪ストーブの煙やにおいの主な原因と解決方法

- ◎煙突が低すぎた、または煙突の近くに隣の家の窓等があった。⇒ 消防法関連法規と建築基準法関連法規で規定がありますので、それに適合しているのか確認をしてください。
- ◎煙突に煤(すす)やタールが詰まっていた。⇒ 年に一度は必ず清掃をすることが重要です。また、煙突の接合部の固定や、損傷・劣化の有無などの点検も重要です。
- ◎薪が不完全燃焼していた。⇒ 燃焼温度が低いことが考えられます。煙やにおいで近隣トラブルになりやすいため、正しい燃焼方法や薪の乾燥方法をしっかり理解することが重要です。

## ◆ワンポイント アドバイス◆

約100℃	水分の気化が始まる	煙が出やすい
約250℃	木炭ガスが放出される	
約270℃	木炭ガスに引火が始まる	
約500℃	赤熱して、炎を出さずに燃える	煙が目立ちにくい

上手な焚き方などの参考例は、裏面へ

# ～薪ストーブの上手な焚き方とコツ～

## その1 「よく乾燥した薪を使う」

◆薪の乾燥が不十分だと、水が蒸発するときに熱を吸収するため、燃焼温度が低くなります。結果として不完全燃焼となり、煙が多く出てしまいます。

## その2 「熾火(おきび)が命」

◆薪ストーブを上手に焚くポイントは、「熾火を作ること」です。熾火が充分であれば太い薪をくべてもしっかり燃えてくれます。また、熾火を炉内の床に広げることで、炉内の温度が上昇するため、さらに燃焼効率を上げることができます。

## その3 「火を育てる」

◆最初は、細い木片などの焚き付けを燃やし、勢いがついたら中くらいの薪、それがしっかり燃えたら太めの薪、のように3段階ぐらいで火を育てましょう。

## ☆Let's Try☆



### ～薪の乾燥方法～

- ① 薪を細かく割る。(木の内部の水分が抜けやすくなる)
  - ② 乾燥は、屋根のあるところで行い、並べ方は井桁にする。
  - ③ 風通しの良い場所で半年間乾燥させる。(半年後は、上下を逆さまにして、さらに1年間乾燥させる)
- ※市販のデジタル木材水分計を持っている場合は含水率を測るとよいでしょう。(15～20%が適切)  
含水率計が無い場合は、薪を叩いたときに乾いた音がすればOK

### 最後に

今回紹介した「焚き方のコツ」や「乾燥方法」は、あくまでも参考例です。煙やにおいを全く発生させないものではないので、ご了承ください。



★薪ストーブは家も心も温まる暖房器具です。しかし、適切な使用を怠ると近隣の方とのトラブルや火災の発生につながる恐れがあります。ご使用の際は、ちょっとした気遣いと適切な使用を心掛け、楽しい薪ストーブライフを過ごしましょう。



●薪ストーブに関して詳しく知りたい方  
「木質バイオマスストーブ環境ガイドブック(環境省)」  
<http://www.env.go.jp/air/info/biomass-stove.pdf>



《問い合わせ》

苫小牧市環境衛生部  
ゼロカーボン推進室環境保全担当